



月刊 ふし

7月号

## 《今月の表紙》

高校3年 濱田流名さん

## 今号の内容

### 【特集】

美術「中学 スケッチ」

美術「中2 ペン画のイラストレーション」

### 【連載】

67 回生 飯田花織「関西通信」

## 「中学 スケッチ」

休校から始まった4月。美術の授業では、「身の回りの心惹かれたものをスケッチせよ」の課題が出ました。

中学生の心を惹きつけたのはさまざまなもののように……。先月号に続いての第2弾、ユニークな作品たちをご覧ください。



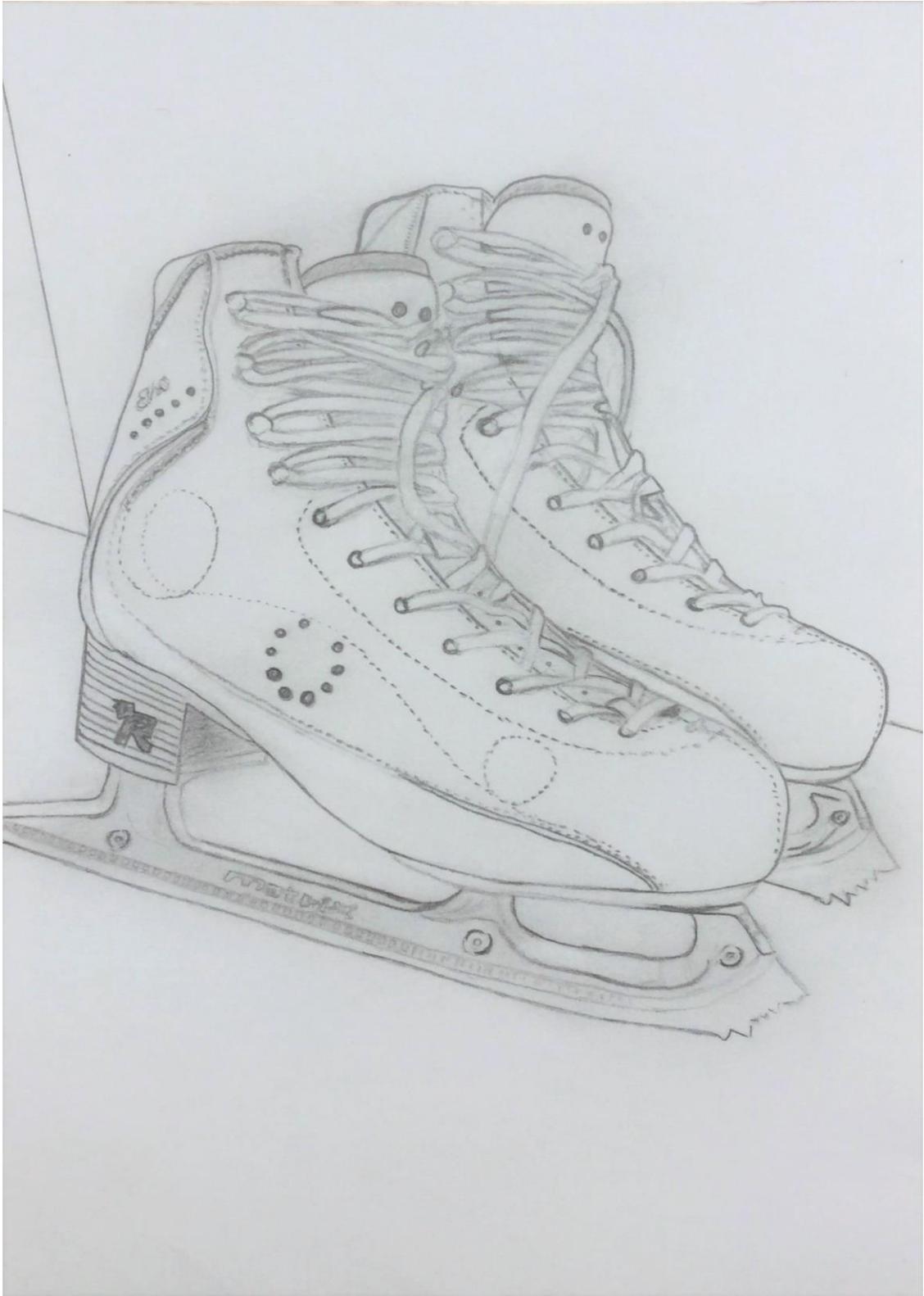
中2 Nさんの作品



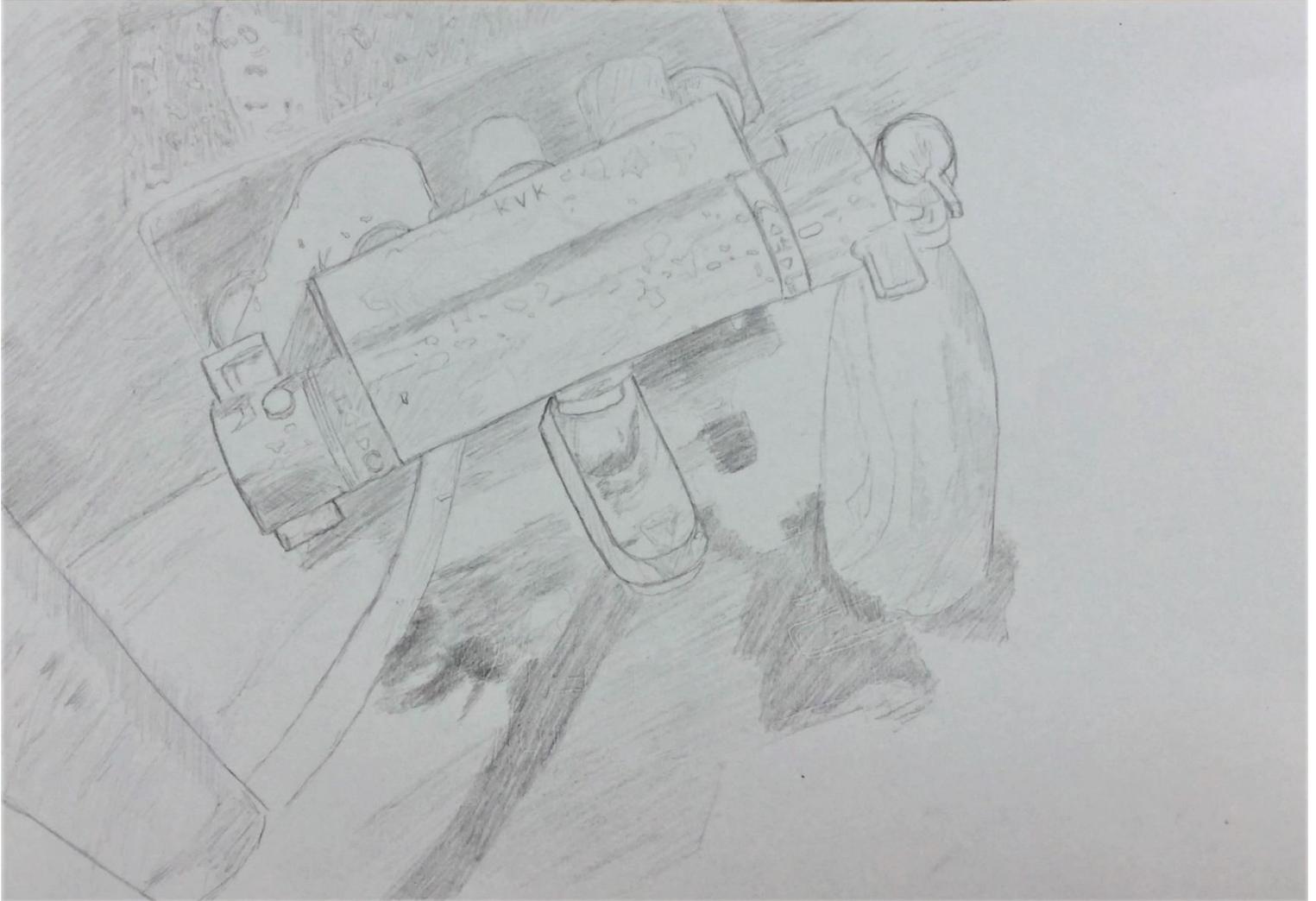
中2 Uさんの作品



中2 Nさんの作品



中3 Nさんの作品



中3 Kさんの作品



中3 Kさんの作品



中3 Kさんの作品



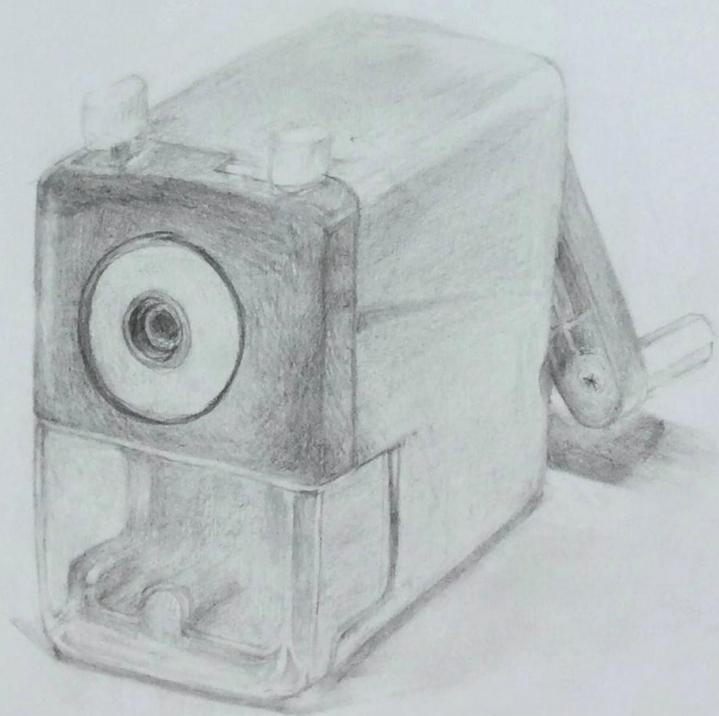
中3 Sさんの作品



中3 Iさんの作品



中3 Hさんの作品



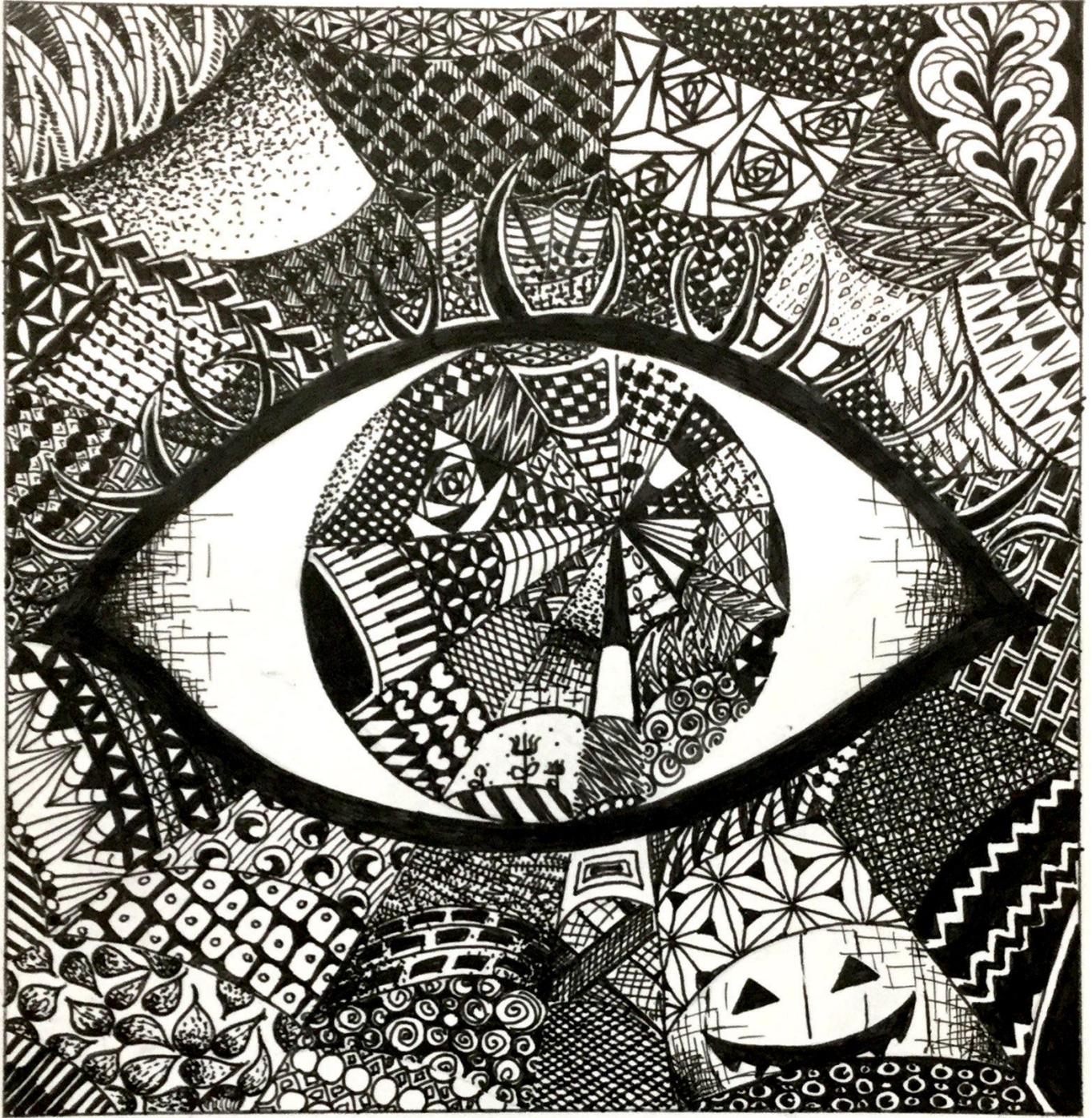
中3 Sさんの作品



中3 Yさんの作品

## 「中2 ペン画のイラストレーション」

丸、四角、三角、渦巻き、点々に網掛け……。簡単に描ける図形や線を連続して組み合わせると、いくと、黒いペン一本でもあつという間に画面が埋まります。休校中のウェブ授業で、連続模様の練習をし、図案の下書きを考えました。登校再開後の美術室での授業では、友人や先輩の図柄に刺激を受けながらオリジナルの模様がどんどん生み出され、個性あふれる作品が仕上がりました。



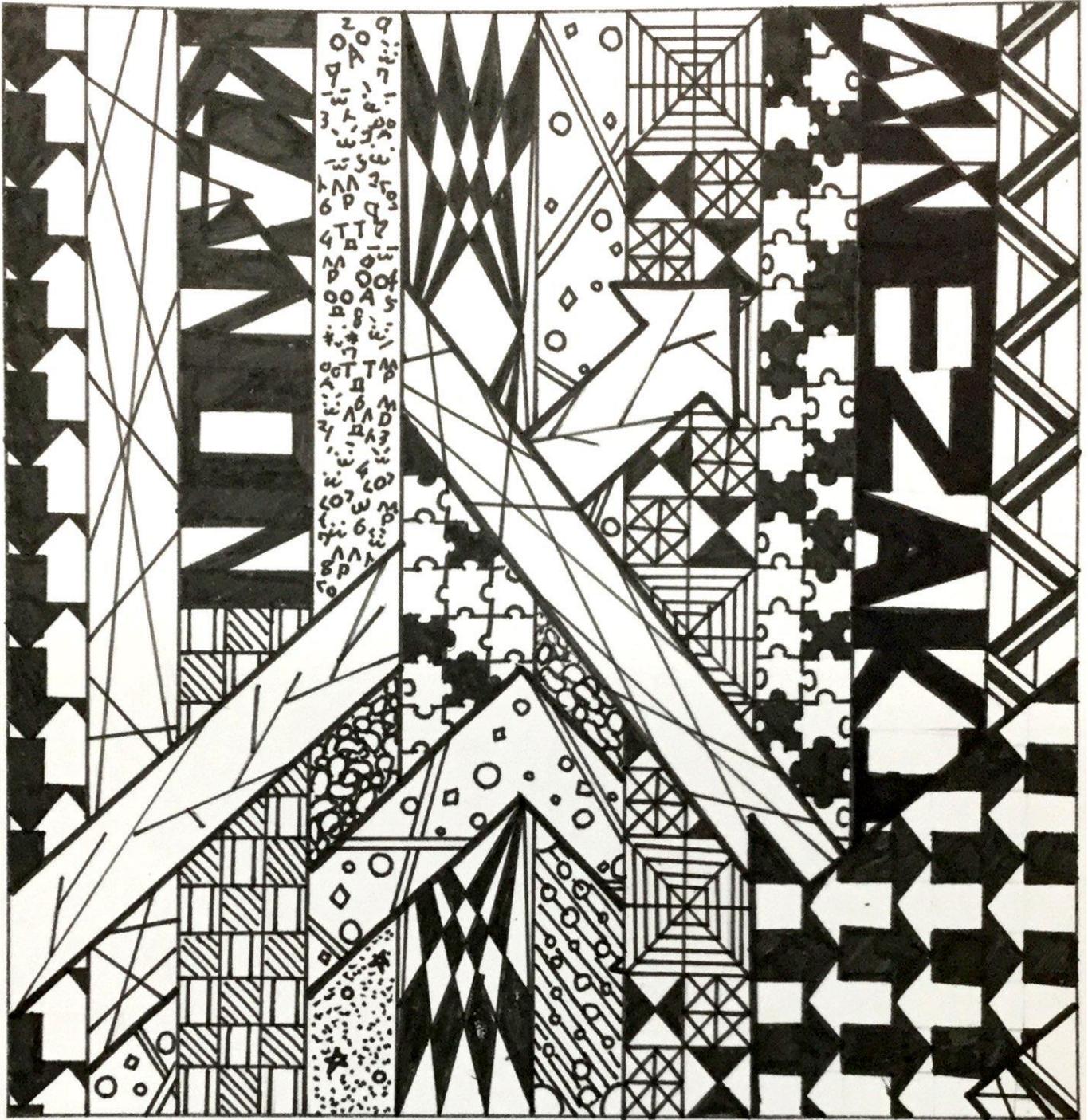
Sさんの作品

「闇」



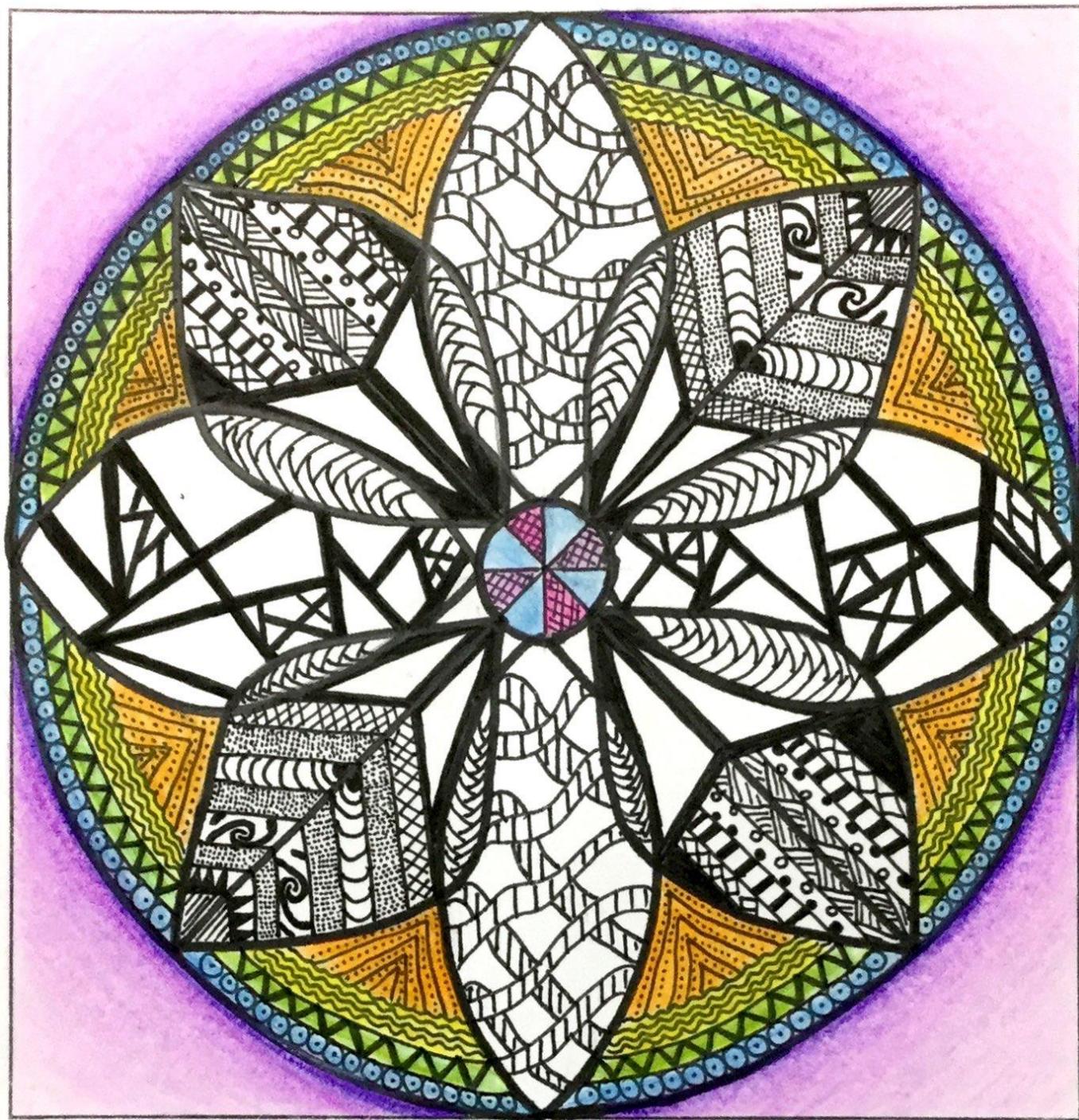
Nさんの作品

「素敵な着物で」



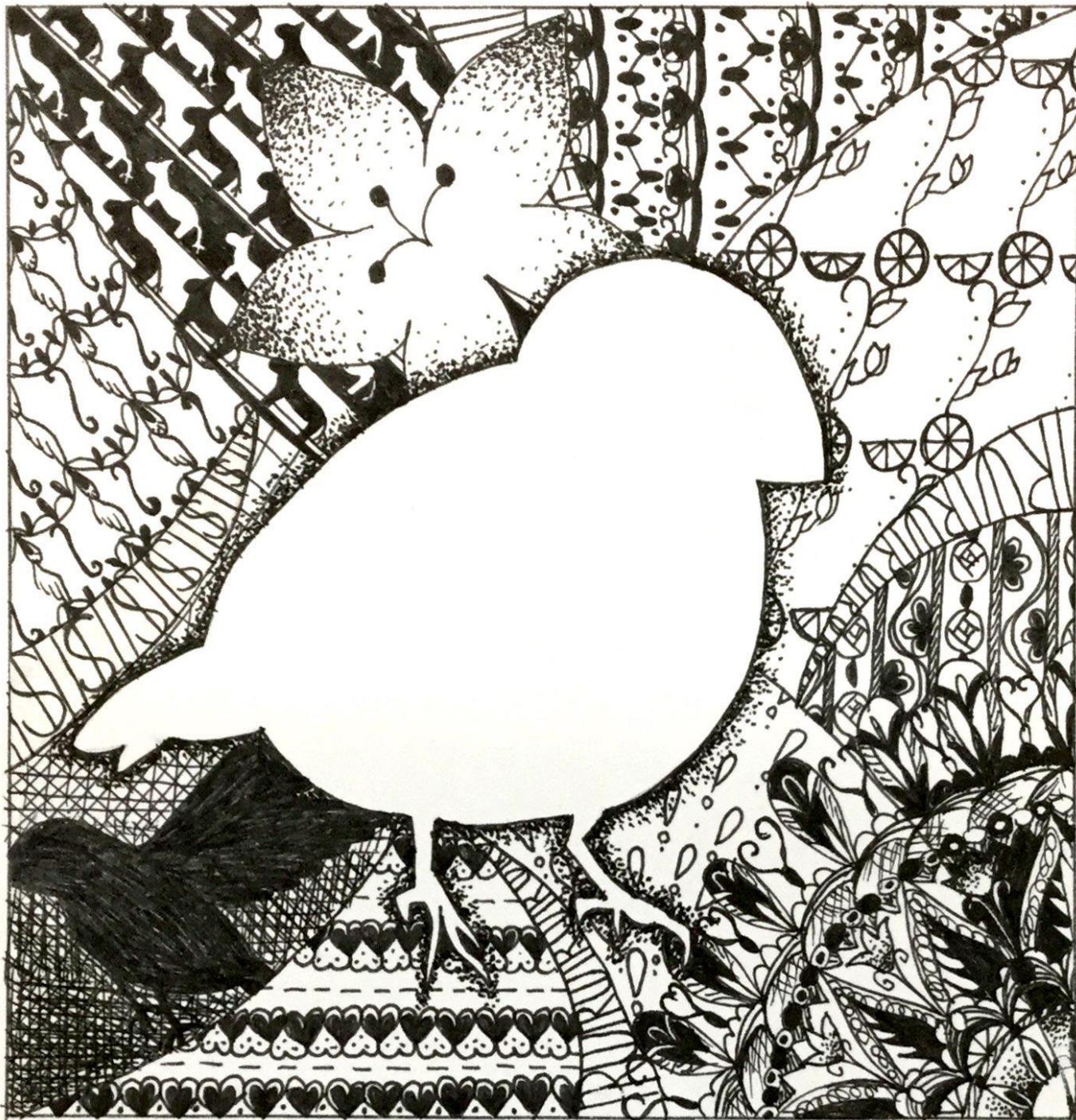
Aさんの作品

「ヤジルシ」



Uさんの作品

「FLOWER」



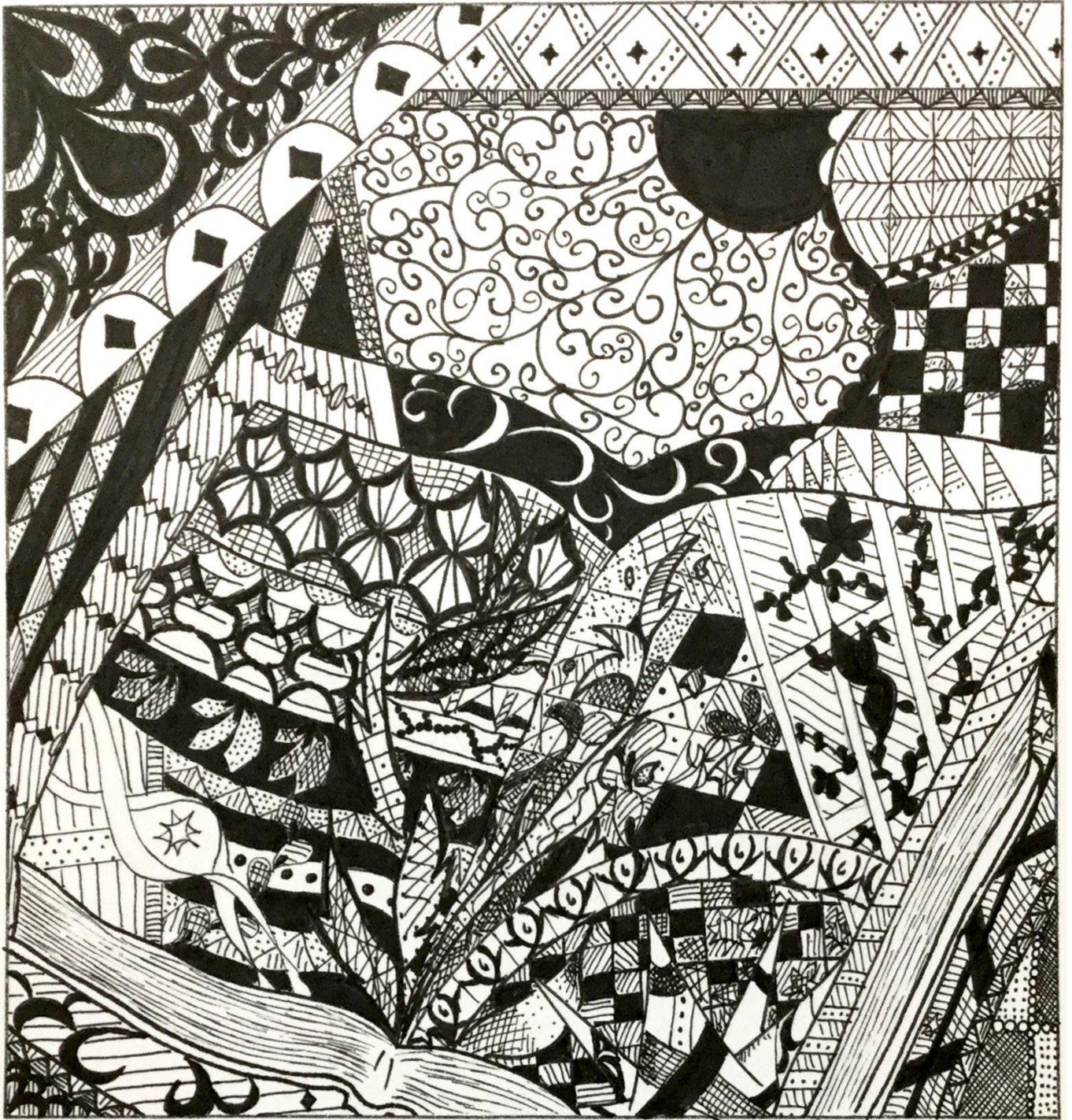
Hさんの作品

「私の文鳥」

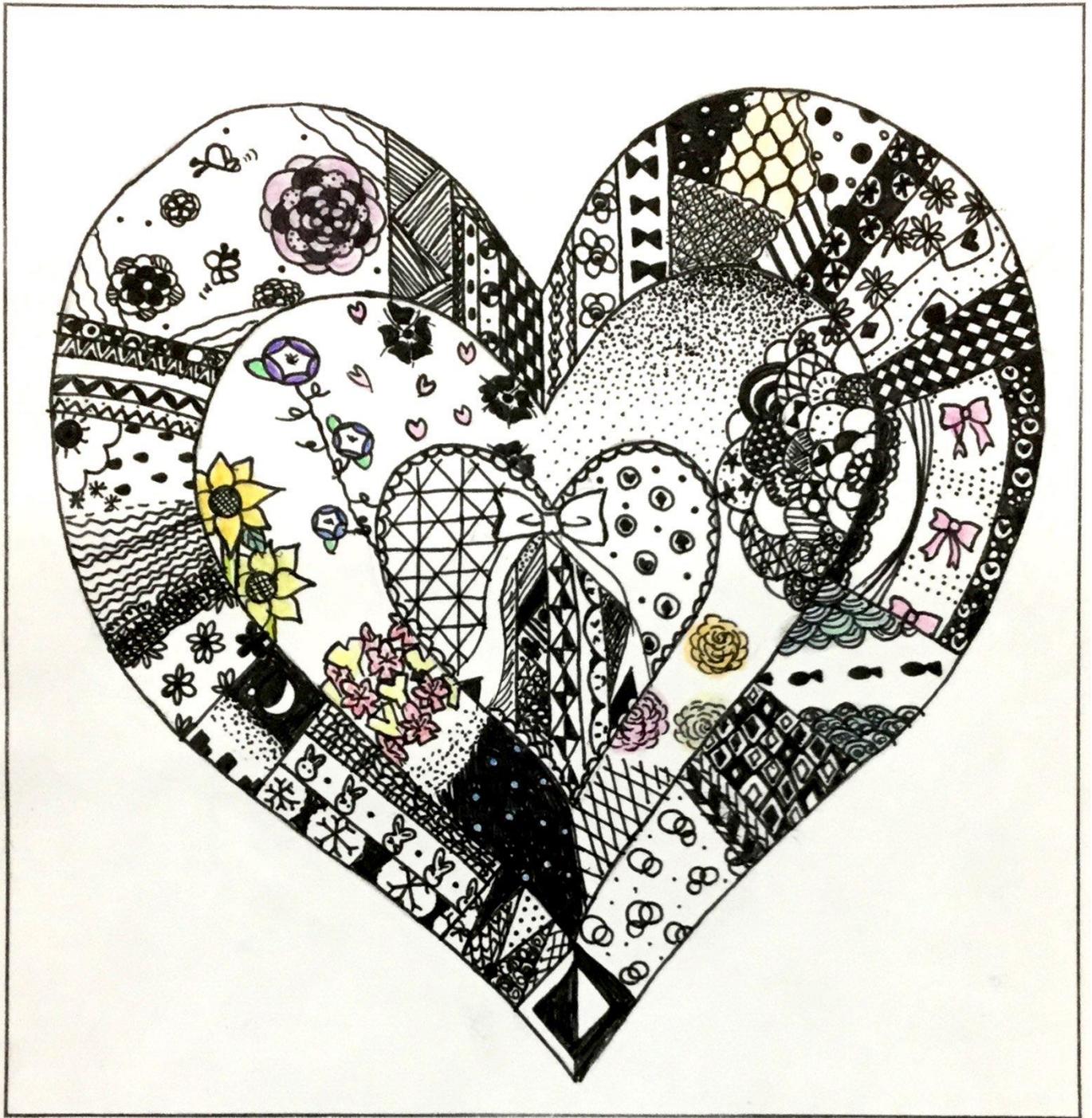


Yさんの作品

「プラネタリウム」

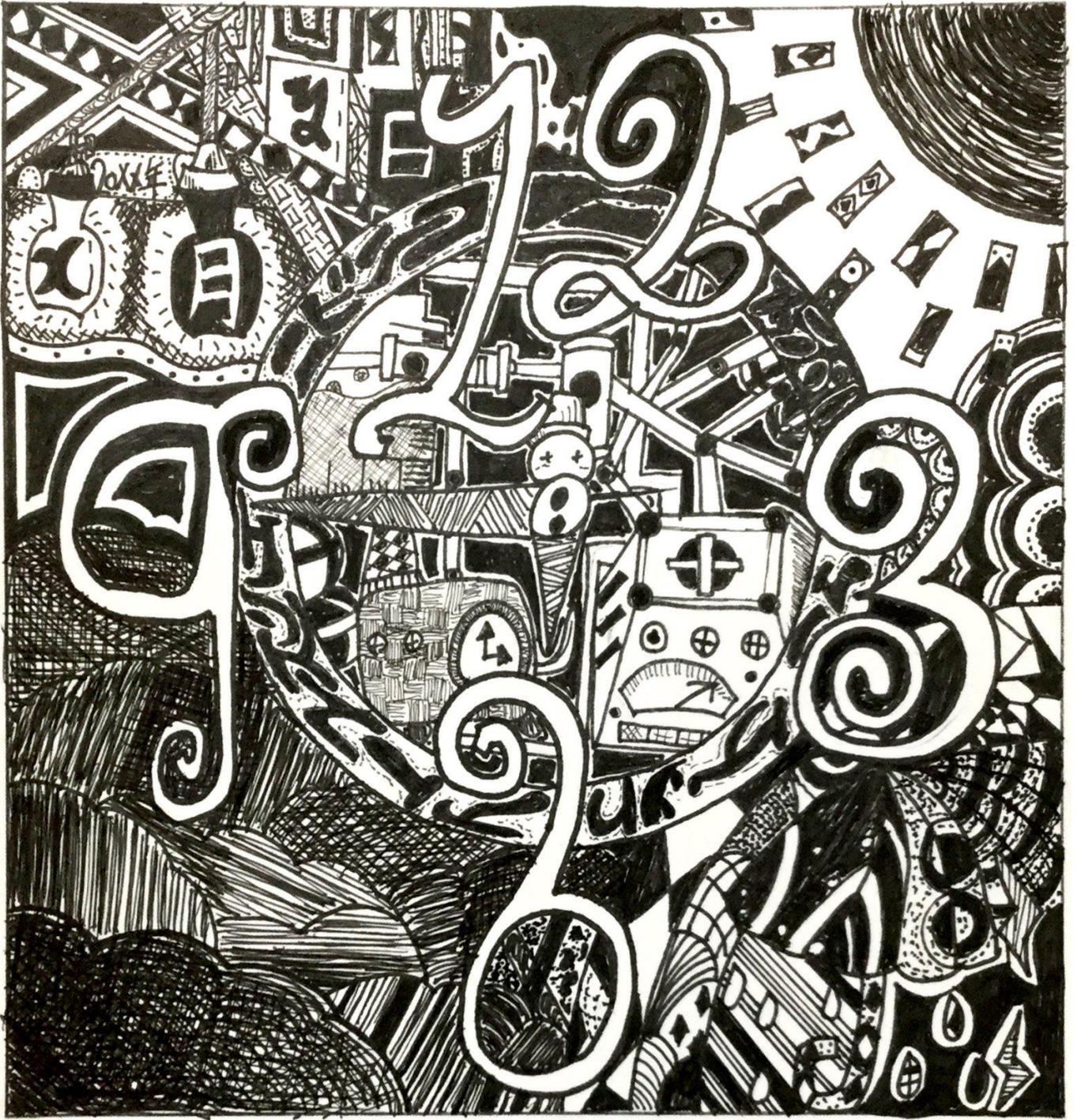


Sさんの作品



Kさんの作品

「花とハート」



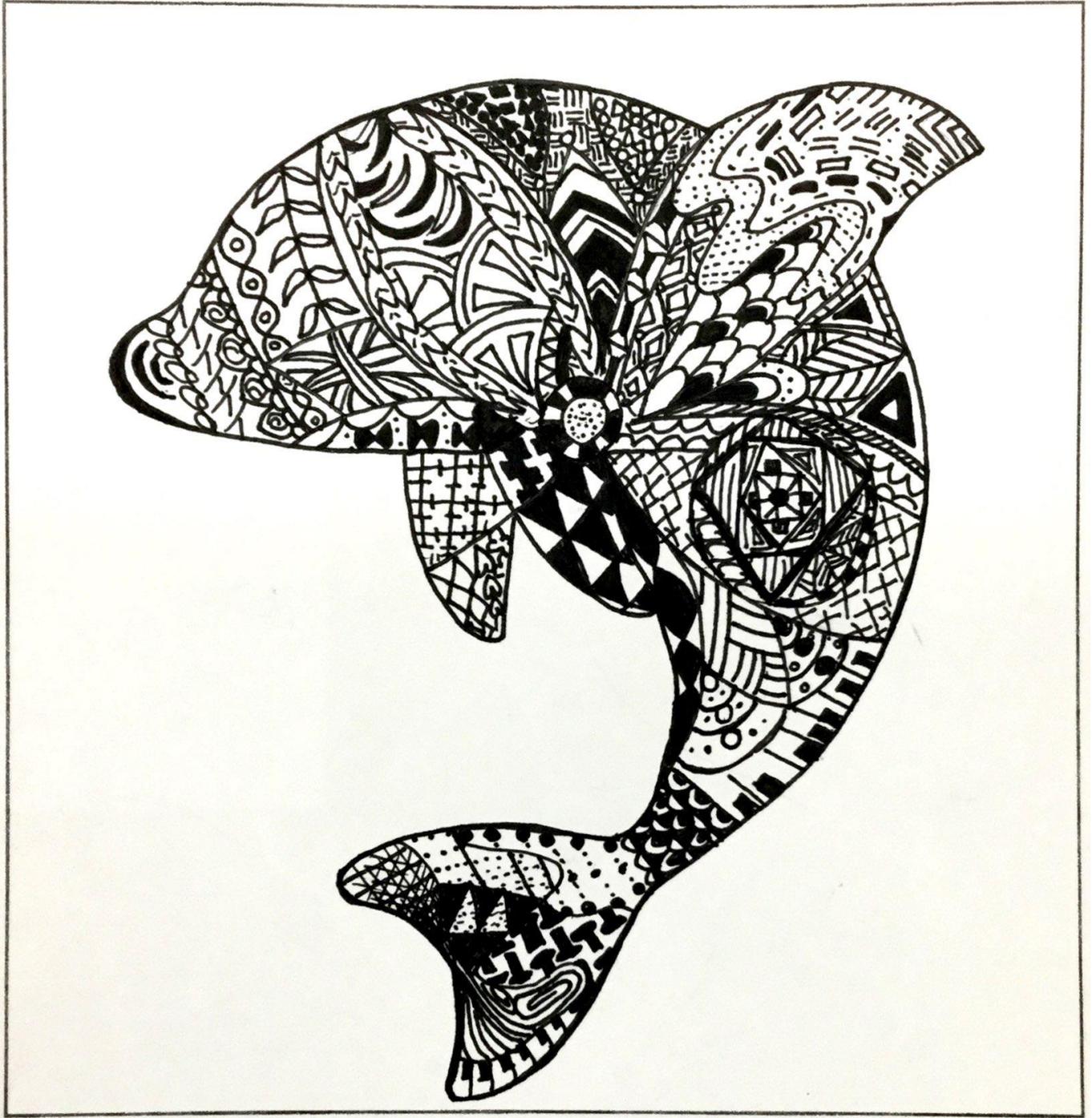
〇さんの作品

「時間」



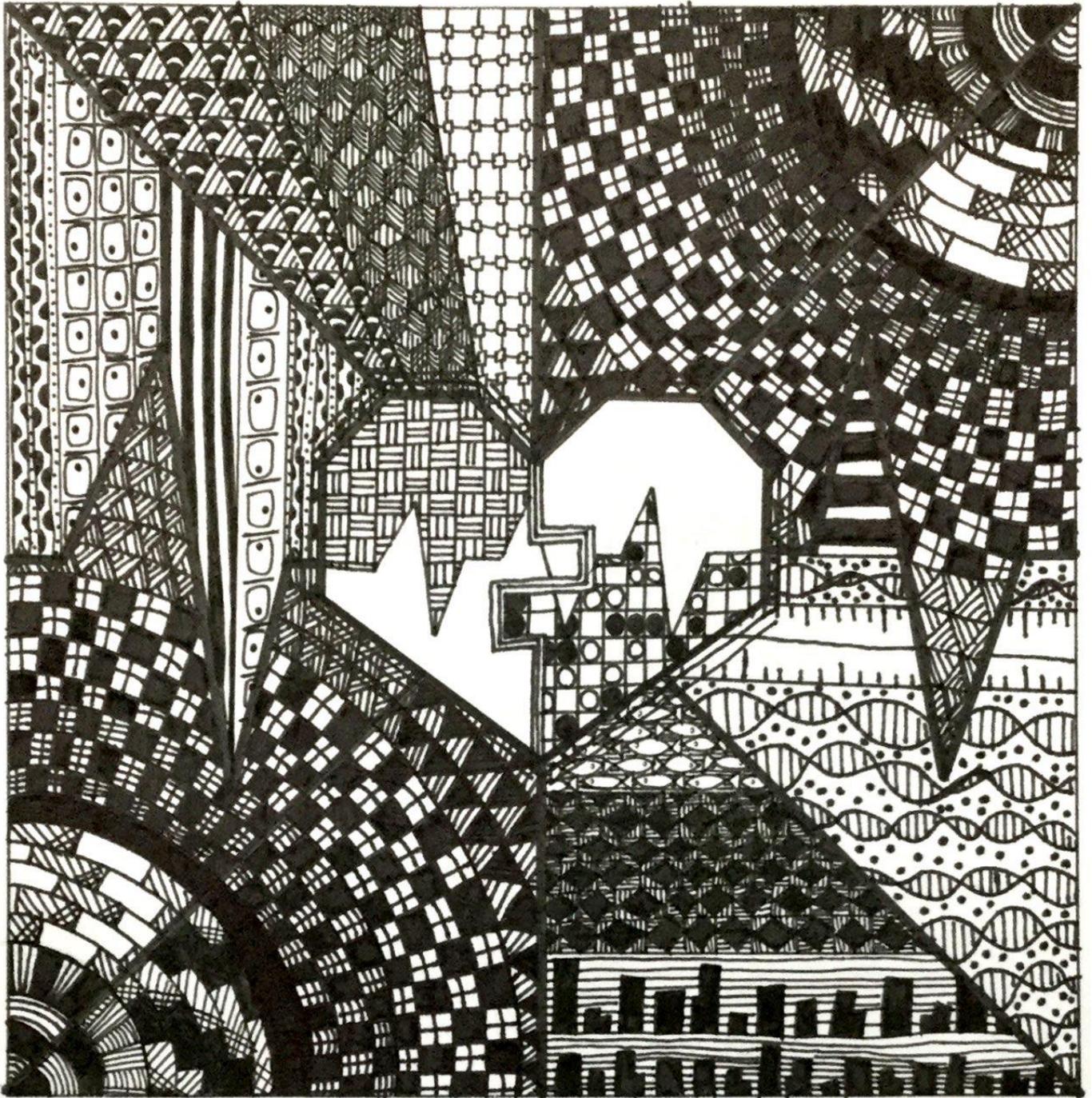
Tさんの作品

「気球」



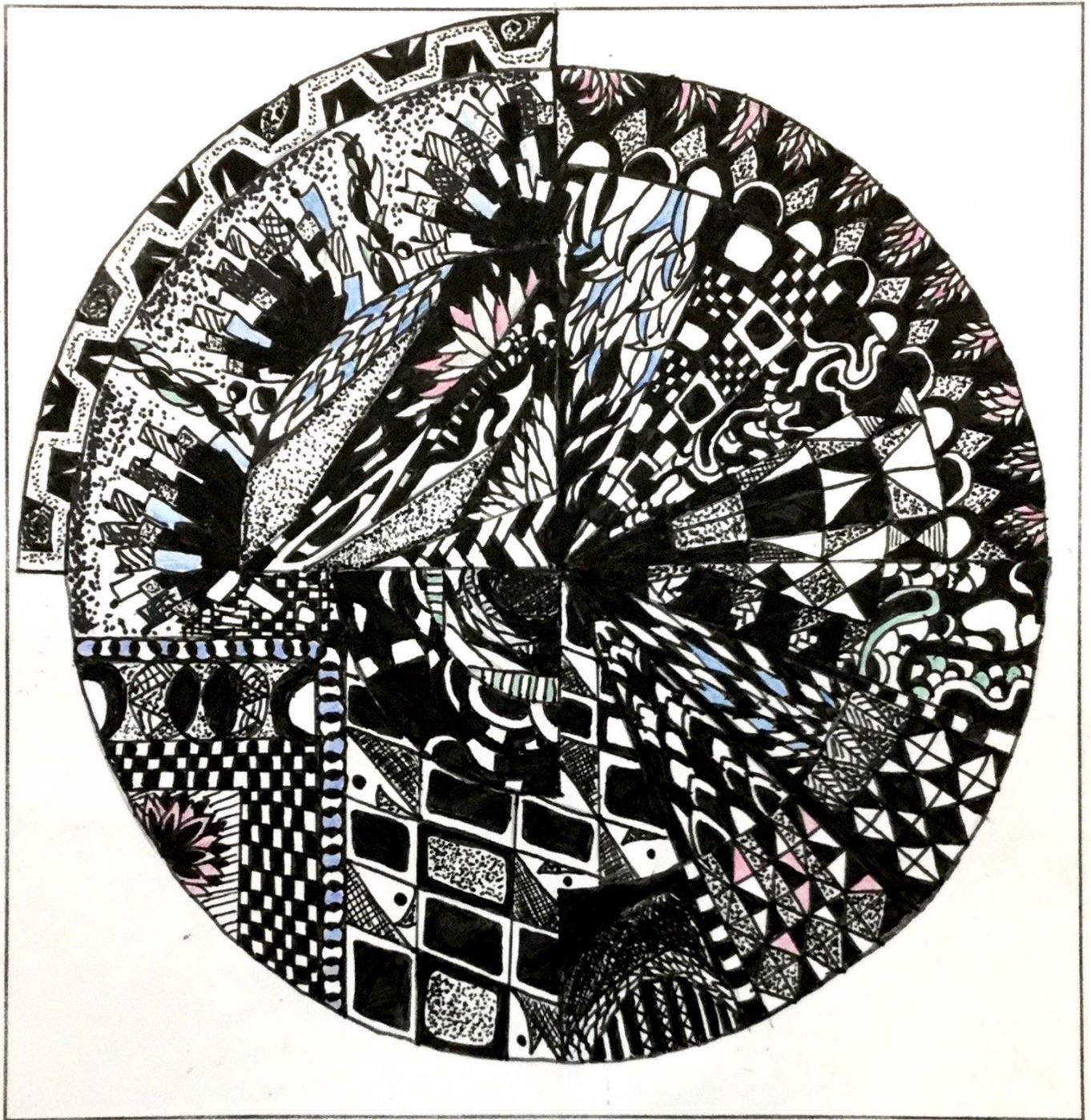
〇さんの作品

「イルカ」



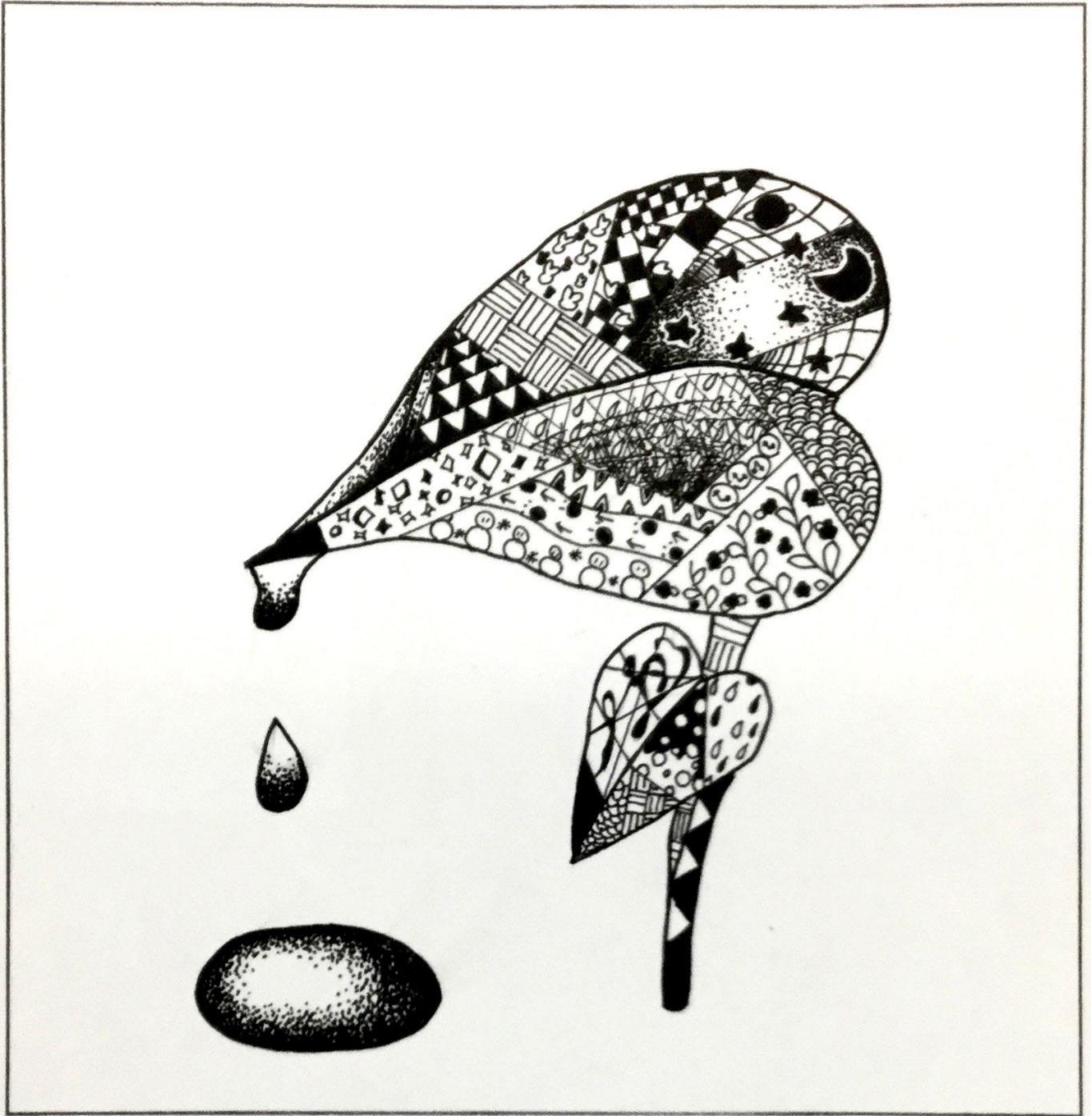
Iさんの作品

「ハート」



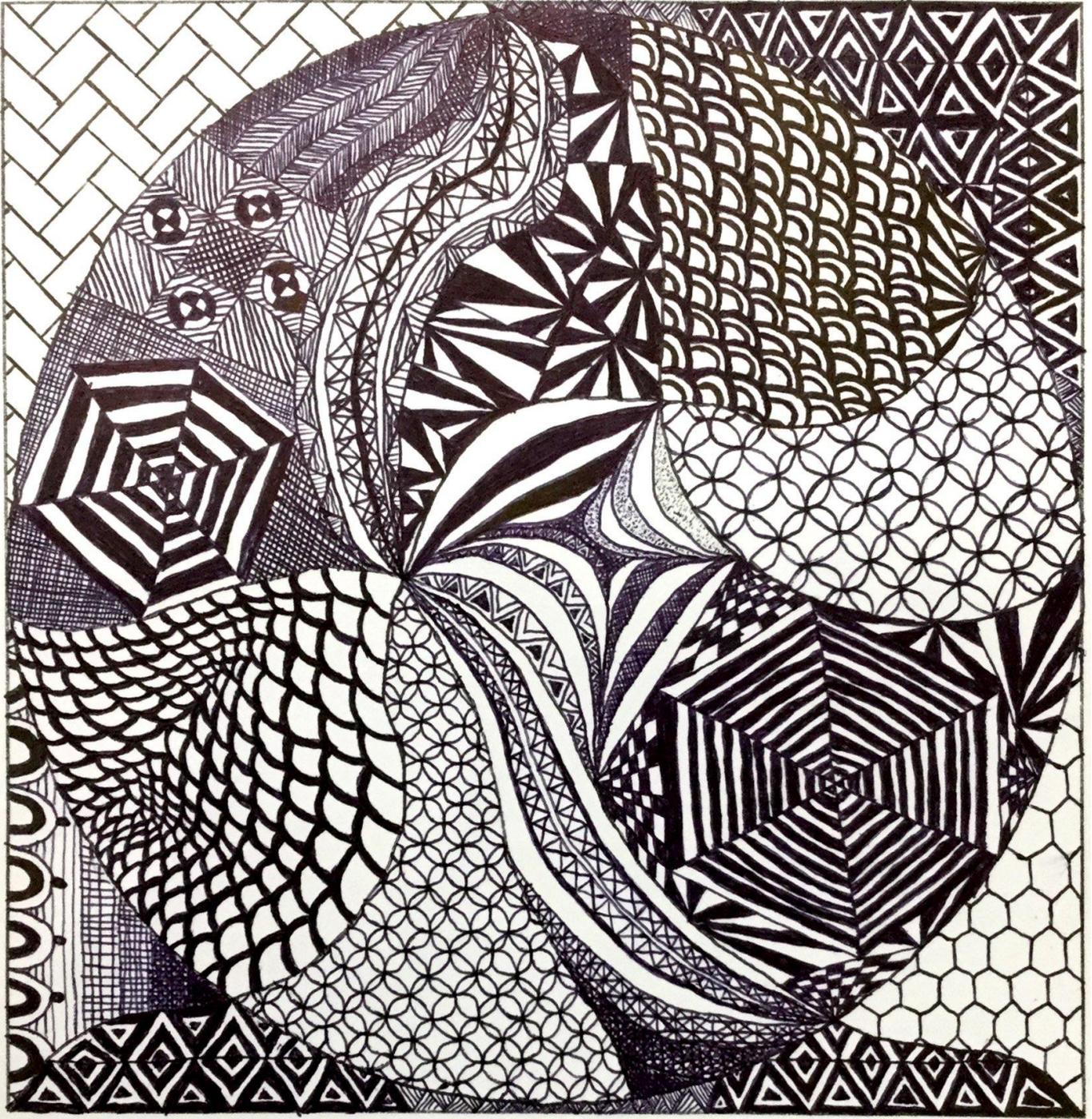
Eさんの作品

「人の心」



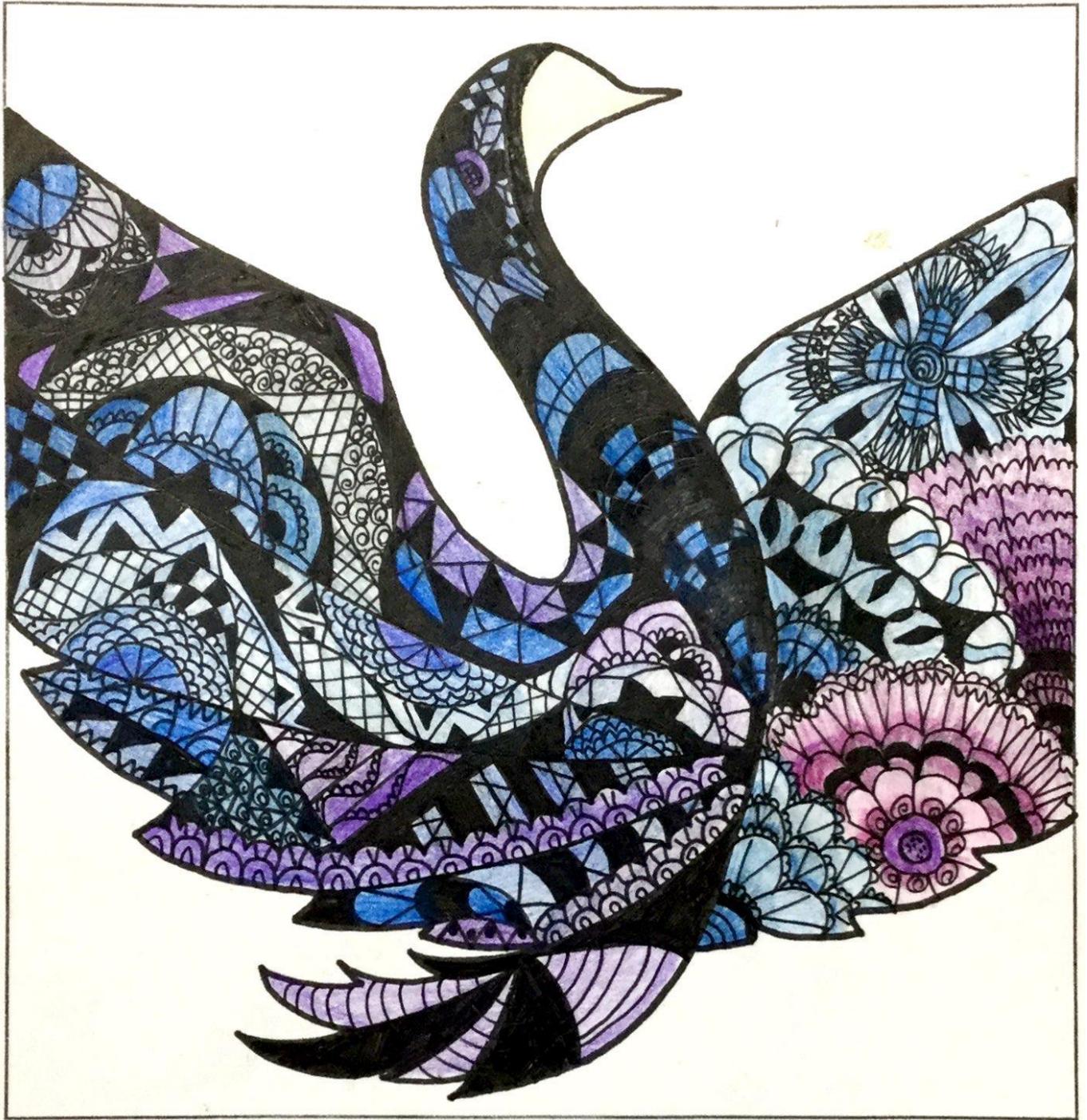
Sさんの作品

「梅雨」



Mさんの作品

「Monotone Town」



Hさんの作品

「秘めたる美」



Yさんの作品

「魚の影と陽」

## 「関西通信」

同志社大学文学部文化史学科を卒業し、現在は大阪大学大学院の文学研究科で日本画の研究をしている、67回生の飯田花織さんの連載第2弾です。

前回に続き、同志社大学での思い出を振り返ります。季節は秋冬。実習を重ねる中で見えてきた次のステップとは。

趣のある写真と文章をどうぞお楽しみください。

# 同志社大学の思い出

## ～秋冬編～

3回生の秋に、日本庭園が併設されている美術館で実習をさせていただきました。展示室の環境管理や展覧会の広報などを学びながら、茶の湯と庭園の関係についても知ることができ、大変有意義な経験になりました。



こちらも同じく実習先で撮った写真。<sup>ななかまど</sup>七竈とお茶室です。この頃はまだ卒業後の進路に迷いがあったのですが、実習を通して将来も美術に携わる仕事がしたいという気持ちが強くなり、大学院に進学することを決めました。



学内での学芸員実習では作品撮影も学びました。美術品を撮影する際には、ただ作品を美しく見せるだけではなく、研究資料としても有用なものとなるよう工夫しなくてはなりません。ライトの当て方やカメラの角度など気を配ることがたくさんあり、苦戦した記憶があります。



4年間の大学生活で一番通い詰めた場所は図書館だと思います。授業の後にはよく図書館でレポートに使う資料を探したり、大学院入試の対策をしたりしていました。夕方頃に図書館を出ると、クリスマスイルミネーションの電球を木に取り付けているレアなシーンを目撃できました。



イルミネーションは毎年 11 月末に点灯式が行われ、聖歌隊の歌声と共にツリーに光が灯ります。煉瓦造りの校舎と相まって、京都の中に小さなヨーロッパが現れたような不思議な感じがします。卒業論文の提出日前日は遅くまで研究室に残っていたのですが、帰り道にこれも見納めと思いながら撮りました。卒業を実感しはじめた時期です。

